

生物の多様性と遺伝

日本館 2階 南01 DNAが明かす生物史



1

ヒグマの渡来の歴史
～ヒグマはいくつのグループに分かれたのか？

DNAの解析でわかったヒグマの系統を地図上に線を引いて表し、その系統がどこから来たと考えられるか書こう。



日本館 2階 南02 鳥が語る形の変化

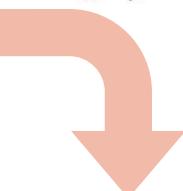
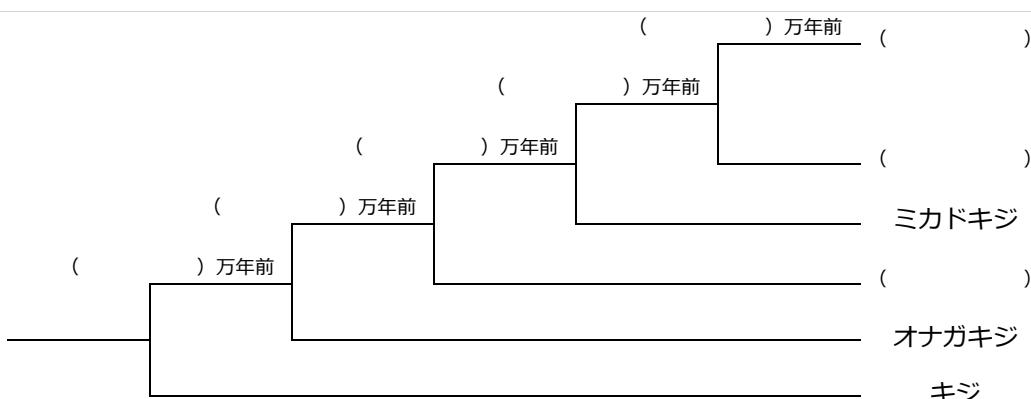


2

ヤマドリの種分化はいつ起きたのか

 DNAの解析でわかったヤマドリの種分化が系統樹で表されています。分化（種としてその種類が分かれていくこと）がいつ起きたのか、展示に示されている系統樹の中で枝分かれしている年代を書き出そう。

DNAで種が分かれた年代も推定できるんですね。鳥の標本と見比べてみよう。





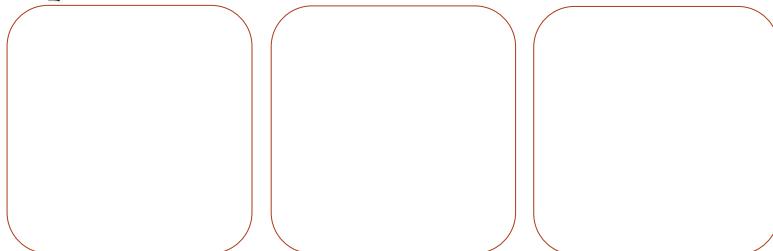
3

ノコギリクワガタ属の系統樹

クワガタの角の形にはこんなに多様性があるのですね



系統樹と標本（頭部拡大モデルがわかりやすい）を見て、ノコギリクワガタ属から3種の角の形を簡単にスケッチしよう



角の形の違いにはどのような利点があるのだろうか？



なぜ日本には固有種（そこにしかいない種）が多いのだろう？



感じたこと

わかったこと

考えたこと



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

年 組 番 氏名